Energia
かけはし
11月
中国電力 上関原子力発電所準備事務所
2021 November／No.431

ほのぼの通信

上関小学校 水軍太鼓を「かみのせき苑」で披露

心をひとつに。地域交流でふれあう心

10月19日、上関小学校4年生から6年生の児童36名が、『特別養護老人ホームかみのせき苑』で、水軍太鼓の演奏を行いました。当日は、新型コロナ感染症対策として玄関前広場で、間隔をとりながら、施設利用者をはじめ、地域の方や児童の保護者が、児童の力強く迫力ある演奏を楽しみました。

最初に児童代表が、「上級生から受け継いで練習してきた成果を出せるよう、心をひとつにして演奏します」と挨拶し、水軍太鼓の演奏が始まりました。

演目は「水軍」と「上関」。威勢の良い掛け声を皮切りに、重厚な大太鼓とくりぬき太鼓、乾いた音色の中締太鼓がリズムを刻み始めます。途中から手持ち太鼓が踊りながら加わり、演奏はクライマックスに。

約15分間の演奏が終わると、大きな拍手に包まれました。そして、水軍太鼓の余韻を感じる中で、5年生が気持ちを込めて書いた色紙のプレゼントも。受け取った溪山施設長から「皆さんの水軍太鼓の音色を聞いて、お集まりの皆さまとともに感激しました。来年も元気な演奏を聞かせてください」とお礼の挨拶がありました。

上関小学校では、地域交流活動のひとつとして、水軍太鼓の演奏を「愛・ランドフェア」などで披露してきましたが、昨年からはコロナ禍で演奏の機会が激減していました。伊藤校長先生は「水軍太鼓の演奏の場をつくってあげたいと思っていました。高齢者とふれあう大切な交流の機会として、これからも続けていきたいです」と話しました。

また、溪山施設長も「利用者と子どもたちとの交流機会を模索する中で、ぜひにとお願いをして、昨年から来ていただいています」と振り返りました。

観客からは、「かわいくて元気が良くて励まされた」「元気な演奏に元気をもらった」との声も聞かれ、感動して涙を流す人もいました。蒲井地区の米中区長も「出かける機会が少ないので、このようなイベントはありがたい」と話していました。

児童が心をひとつにして演奏した水軍太鼓が秋の空に響き渡り、観客に元気を与え、心に残る良い時間となりました。

平成、令和と上関の魅力を伝え続けて

笑顔はじける「愛・ランドフェア」

「愛・ランドフェア」は、年号が平成に変わった1989年に、当時の上関町最大のイベントとして開催されました。例年、開催日は11月3日。文化の日にふさわしく、上関の特産品の販売や、水軍太鼓をはじめとする町民の皆さんが日ごろから精進されている文化芸術活動の披露や展示など、町の魅力を町内外に広く発信するイベントとして親しまれてきました。

おもてなしの心と熱気にあふれた、数々の思い出を振り返ってみましょう。

1989年撮影

会場

第1回から26回までは、上関町民グラウンド・町民体育館。グラウンドいっぱいにテントが並び、多くの来場者で賑わいました。
現在は、道の駅周辺・総合文化センターで開催されています。

2008年撮影

愛・ランドフェアといえば

●チューリップ球根のつかみ取り

「花咲く海の町」ならではの催し。毎年、長蛇の列ができていました。用意された何百個もの球根は、あっという間に皆さんの手に。

2011年撮影

●ふわふわドーム

中国電力コーナーも第1回から出展。
歴代のふわふわドームは、いつの時代もお子さんたちに大人気です。

2015年撮影

●餅まき

イベントのフィナーレを飾るのは、豪快な餅まき。
皆さんの晴れやかな笑顔とともに楽しい一日の幕が下ります。

記憶に残る趣向を凝らしたイベント

2011年撮影

●トラック（バス）綱引きレース

5人1組でマイクロバスを引っ張り、30m動かしタイムを競うもの。
掛け声とともに綱を引く姿に、見ている方も思わず力が入り、大きな声援と拍手で盛り上がりました。

●あなGoリンピック

活きたアナゴをバトン替わりにして、5人1組でリレーに挑みます。
時には、飛び跳ねたアナゴを空中でキャッチする見事な技が披露されたり、足つぼマットまで敷かれて四苦八苦した年も。
一筋縄ではいかないリレーに、会場は笑いと歓声に包まれました。

2016年撮影

2017年撮影

車エビの豆板醤炒め

材料/2人分

- 車エビ（有頭）… 8尾
- タマネギ…… 1/4個
- 青ネギ…… 適量
- サラダ油…… 大さじ1
- Ⓐ 豆板醤…… 大さじ1
- Ⓐ 砂糖 …… 小さじ1
- Ⓐ 酒…… 大さじ1

調理方法

1. 車エビは、塩水で洗い、殻つきのまま背ワタを取り水けを取る。
2. 青ネギは、小口に切る。タマネギは、さいの目切りにする。
3. 中華鍋に、サラダ油を熱し、車エビを入れ色が変わるまで炒める。
4. タマネギを加えてさっと炒め、青ネギ、Ⓐの調味料を加えて全体にからめ、エビの殻がカリッとするまで炒める。
5. 皿に盛りつける。

料理メモ

車エビは脂肪分が少なく、高タンパク質な食材です。アミノ酸が多く含まれ、うま味や甘味の元となっています。発酵調味料である豆板醤は豊富な栄養素を含み、疲労回復、肥満抑制、胃腸の働きを整える効果があると言われています。また、豆板醤に含まれるチロシンという成分は神経伝達物質を作り出し、脳の働きを良くする効果が期待されています。

主な栄養成分（1人分）

タンパク質……17.8g	亜鉛……1.2mg
炭水化物 ……5.3g	β-カロテン……194μg
カルシウム……41mg	ビタミンE……2.4mg
マグネシウム…44mg	食塩相当量……2.1g

ポイント

エビの甘味と豆板醤の辛みが合わさり、後を引くおいしさです。炒め過ぎると身が固くなり、うま味もなくなるので気をつけましょう。お好みで仕上げに、ざく切りにしたパクチー（香菜）を添えると味にインパクトがつきます。

TOPICS
トピックス

上関小学校　サツマイモ収穫！

今年度から、上関小学校の中庭にできた「ハッピー中にわ農園」で、10月11日に小学校1、2年生による“芋ほり”が行われました。

今年5月に児童と先生、そして地域の方にもお手伝いいただきながら、植えた3品種のサツマイモは、どれもすくすくと育ち、大きなものから小さなもの、中には細長いものなど、さまざまな形がありました。児童たちは折れないよう慎重に掘り進め、掘り出した芋を嬉しそうに見せ合うなど、とても楽しそうに収穫していました。収穫したサツマイモのうち、紅あずまとシルクスイートは、1カ月程度寝かした後、給食や焼き芋にして食べるそうです。

児童たちは、「掘るのが大変だった」「収穫したサツマイモを食べるのが楽しみ」と話していました。

当日は今にも雨が降りそうでしたが、無事に収穫を終えるまで天気が持ち、児童たちの元気なパワーが伝わったかのようでした。

第6次エネルギー基本計画について

エネルギー基本計画は、わが国のエネルギー政策の基本的な方向性を示したもので、約3年ごとに見直されています。

本年10月、脱炭素化や日本のエネルギー需給構造が抱えるさまざまな課題などを踏まえた第6次エネルギー基本計画が、閣議決定されました。

見直しの概要

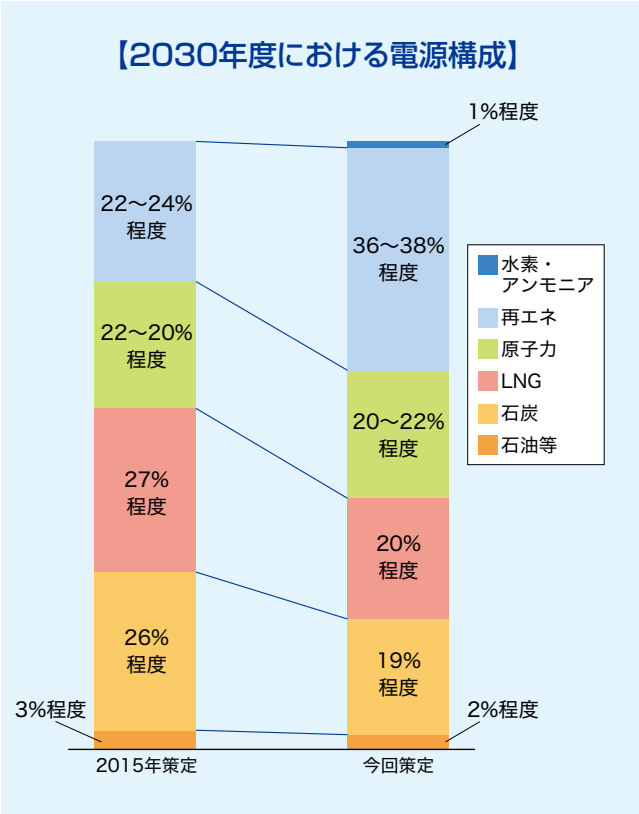
第6次エネルギー基本計画では、「2050年カーボンニュートラル※」や「2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減」の実現に向けたエネルギー政策の方向性が示されています。

2030年に向けた電力供給部門については、S（安全性）+3E（安定供給、経済性、環境への適合）の原則を大前提に、「再生可能エネルギーの最大限導入に向けた最優先の原則での取り組み」、「安定供給を大前提にできる限りの化石電源比率の引き下げ・火力発電の脱炭素化」、「原子力依存度の可能な限りの低減」といった基本的な方針のもとで、取り組みを進めるとしています。

また、政策対応の方向性として、原子力については、引き続き、重要なベースロード電源と位置付けられ、原子力規制委員会により世界で最も厳しい水準とされる規制基準に適合すると認められた場合には、再稼働を進めるとしています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、原子力発電は実用段階にある脱炭素化の選択肢として、より重要性が高まってくるものと認識しており、今後も一定程度、持続的に活用していくためにも、新増設・リプレースが自ずと必要になると考えています。

安全確保を大前提に安定供給の確保、価格の安定性、地球温暖化防止の観点からも、上関原子力発電所は重要な電源であることに変わりはなく、引き続き、より多くの皆さまからご理解いただけるよう、最大限取り組んでまいります。



※カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質ゼロにすること

編集後記

日ごとに冬が近づいてきて、最近は布団から出るのがつらくなりました。

朝、布団の中で簡単なストレッチなど体を軽く動かすと、手足の末端まで血液が巡るようになりスッキリ起きられるそうです。

寒さに負けないように、頑張ってランニングを始めようと思います。

かけはし【431号】 令和3年11月発行　発行所・〒742-1403　山口県熊毛郡上関町大字室津288-13
中国電力(株) 上関原子力発電所準備事務所　☎(0820)62-1111

この広報紙は、地球環境に配慮して、再生紙と植物油インキを使用しています。